

第3次計画_イメージ

目次

I はじめに

第1章 策定にあたって

1. 策定趣旨
2. 第2次伊賀市総合計画の全体構成と期間

第2章 これまでの計画の総括と課題

1. 第2次再生計画の振り返り
2. 社会経済情勢の変化
3. 計画の策定に向けて

II 基本的な考え方

第1章 計画のテーマ

第2章 計画の体系

1. 計画体系の考え方
2. PDCA サイクル
3. 横断的な取り組み

III 分野別計画

第1章 計画全体の概要

1. 施策・事業の一覧

第2章 各施策の概要

1. 健康・福祉
2. 生活・環境
3. 産業・交流
4. 生活基盤
5. 教育・人権
6. 文化・地域づくり
7. 計画の推進

第3章 横断的な取り組み

1. 地方創生に向けて「第2期伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
2. 取組一覧（再掲）

参考資料

人口ビジョン

第1次再生計画からの施策の関連一覧

施策項目ごとの構成

(※文章内容は現計画のものを引用しています)



関連する持続可能な開発目標（SDGs）のアイコンを表示します。

1. 健康・福祉

□この分野における政策一覧□

- 1-1. 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり
- 1-2. 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり
- 1-3. 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり



1-1-1

関連する持続可能な開発目標（SDGs）のアイコンを表示します。

健康づくり

生涯を通じ、健康に暮らすことができる

施策ごとの指標（KPI）は無くし、基本事業ごとの指標を置きます。

成果を示す指標（KPI）	指標の説明	現状値	目標値
--------------	-------	-----	-----

全体指標	現状値	目標値
市民まちづくりアンケート 満足度	〇〇	〇〇

施策にかかわる全体指標としてまちづくりアンケートの満足度を置きます

現状と課題

- 健康に関する相談については、訪問や面接、電話、各種教室などのさまざまな機会を通じて保健師や栄養士などの専門職が窓口となり健康相談を行っています。こころや身体の健康についての悩みは、一人で抱え込まないことが大切です。市民が気軽に相談できるよう相談窓口を設置するとともに、専門機関などの相談窓口を周知する必要があります。
- 市では、市民が日常生活の中でより良い生活習慣を身に付けられるよう、健康についての正しい知識の普及を目的として、健康づくりをテーマとした出前講座を実施しています。自身の身体に向き合い日々の生活習慣や健康について考える、また、健康づくりに関心を持ち取り組むことが、将来的な生活習慣病予防や介護予防につながります。市民の健康寿命の延伸に向けて、健康に関する適切な情報を十分提供し、健康づくりの推進に取り組む必要があります。
- 健（検）診事業では、疾病の早期発見・早期治療のため各種検診や健康診査を実施しています。しかし、がん検診については、受診率が低い状況です。がんや生活習慣病などの早期発見には健（検）診の受診が有効であることから、健（検）診の目的・効果・必要性について市民への周知を強化するとともに、受診しやすい環境の整備など、受診率の向上のための取り組みが必要です。
- 各地域での健康づくりは、住民自治協議会などが中心となりさまざまな取り組みが進められています。すべての市民が生涯現役でいきいきと暮らすためには、市民一人ひとりが自身の健康問題に気づき、生活改善をめざして継続的に取り組むための支援や事業の実施が必要です。そのためには、地域が主体的に健康づくり活動に取り組めるよう、地域や企業と連携して活動支援を行う必要があります。

市民の意識

まちづくりアンケートの満足度のみ、上記に記載します。

